バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：https://okashi.info　e-mail：ks-news@okashi.info

令和7年　3月22日（土曜日）
（毎月12、22日発行）第2337号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,800円

大阪産（もん）名品の会

第15回定時総会開催

販売・広報活動活発に

万博で出店、5社が新規加入

大阪産（もん）名品の会（荒木貴史代表幹事）は、3月13日（木）午後5時より大阪市北区のホテル阪急インターナショナルで第15回定時総会及び懇親会を開催した。

市川知明幹事が開会挨拶で、会員101社中出席59社、委任35社で総会の成立を告げた。

はじめに、荒木貴史代表幹事が参集への謝辞に続き「万博における団体での出店は不安なことが多かったが、2024年2月に申請を行い5月に受理されてから数カ月、必死の運営を続けてきた。4つの委員会で構成しており、準備に関し約8割のところまで到達した。開幕まであと1カ月、無事に進めていきたい。前回の大阪万博から55年がたったが、当時私は14歳で、強烈なインパクトがあった。今回、ジャパンマルシェでの参画は、皆さんが主役だ。2800万人と見込まれる国内外の来場者に大阪産（もん）名品をPRする絶好のチャンスを逃してはならない。食をとおして、『命を育む』をテーマに、皆さんのご協力のもと総力をあげて進めていきたい」と話した。

挨拶する荒木代表幹事

荒木代表幹事を議長に各議案を審議し、すべて承認された。

◎令和6年度事業報告

・5月14日(火)・15日(水)menu導入説明会（大阪市中央区menu㈱）＝13社が参加。

・5月25日（土）・26日（日）うめきた大阪産（もん）マルシェ（大阪市北区グランフロント大阪うめきた広場）＝テントでの野外販売とステージイベント、アンケート調査回答者へのお礼品提供に協賛。26社71アイテムが出店参加、来客数3227人、売上高45万7298円。

・10月12日（土）～14日（月・祝）秋の水都大阪ウィーク（大阪市中央区天満橋八軒屋船着場）＝テントでの野外販売、ジャパンマルシェのシミュレーション。27社65アイテムが出店参加、来客数261人、売上高26万7477円。

PR広報活動では、同会ホームページ及び、J・COM（ケーブルテレビ）「かもん！おおさかもん!!」で月1または2回にわたり会員の商品を紹介。同番組はユーチューブでも視聴できる。

記念撮影

決算報告及び16期の予算案を岡本博之幹事が報告、小林隆太郎監事の監査報告で承認された。新役員（幹事）に竹本洋平氏㈱高山堂）が選任され、土井倫治氏（だんぢり屋製菓㈱）は退任した。

新規入会5社＝㈱宮崎食品、㈱金紋ソース本舗、㈱大阪の味本舗、別寅かまぼこ㈱、一冨士ケータリング㈱

退会4社＝だんぢり屋製菓㈱、㈱松前屋、吉野壽司㈱、御和菓子司壽屋

万博で60社 172品を販売

◎令和7年度事業計画

・販売促進事業＝5月大阪産（もん）マルシェ2025（うめきた広場）／大阪・関西万博内、大阪ヘルスケアパビリオンデモキッチンエリアにて「おおさかもんティーペアリング」の推進・運営、相互告知によるジャパンマルシェの販売促進。

なお、大阪・関西万博ジャパンマルシェ「おいしい老舗のたからばこ」にて184日間の店舗運営のため研修会、勉強会の開催予定はない。

小懇後、親睦会を開催、95人が出席した。

来賓より、大阪府環境農林水産部流通対策室ブランド戦略推進課青山宏課長が吉村洋文大阪府知事の祝辞を代読した後、大阪公立大学経営学研究科商学部小林哲教授が「生きているあいだに大阪での万博はこれが最後だ。関わる人たちが楽しめることが大事」と話した。

タレントのやのぽん、田口万莉が登場し、豪華景品が当たる抽選会で大いに盛り上がり、小林隆太郎幹事が中締め挨拶で「今日は、万博の前夜祭のような賑わいだった。前回の大阪万博では、観光土産品協会から20数社が出店し、たくさん売れてよい結果となった。今回は60社が参加し、172品を販売する。全部で184日間の長丁場だが、皆さんと協力し合い大成功させたい」と述べ、記念撮影の後に散会した。

ビスケット協会

キャンペーン抽選会

フランス・パリへの旅　20万人が応募

（一社）全国ビスケット協会（吉田康会長）は3月14日（金）午後2時より東京都港区の同協会会議室にて「第45回ビスケットまつりキャンペーンオープン懸賞抽選会」を開催。農林水産省新事業・食料産業部食品製造課佐々木隆行課長補佐・同課石田千草菓子係長、会員、メーカー、プレス関係者ら30人が出席した。

冒頭、吉田会長が「平成9年、第17回キャンペーンより海外招待旅行とビスケットの詰め合わせを実施しているが、海外旅行経費の高騰、円安等により、海外招待旅行と旅行券10万円を隔年実施としている。今回はA賞フランス・パリへの旅を企画した。応募総数は約20万通を超え、ビスケットの普及、啓発という点で一定の成果を挙げたと考えている。ビスケットが健康的で安全・安心な食品であることを第一に心がけ、消費者の皆様に食の楽しさや生活の潤いを提供できるように一層努めてまいりたい」と挨拶した。

記念撮影（吉田会長＝右から2番目）

事務局から応募の概要、抽選方法の説明があり、厳正に抽選を行った。

【キャンペーン概要】

◎実施期間24年11月1日～25年3月10日　オープン懸賞方式

◎応募方法＝応募はがき・郵便はがき・インターネット・公式X（B賞のみ200人に当たる。）

◎賞品A賞＝魅惑のフランス・パリへの旅14組28人　B賞＝ビスケット詰め合わせセット（2200円相当）2280人

◎応募総数＝20万4767通（前年比70・85％）、内訳＝応募はがき4万2336通（同55・13％）・郵便はがき5万58通（同51・24％）・インターネット9万48通（同94・55％）・公式X2万2325通（同115・66％）

郵便料金の値上げと、今回は招待旅行のため前年より応募総数が減少したと考えられる。なお、4月上旬に東京都善意銀行にビスケットセット約千個を寄贈予定。

3面　京洛製餡 新工場
4～6面 原材料、資材、関連企業
8面　美十「ふわふわおたべ」